



環境センター

KANKYOUCENTER

積極的なリサイクルにとことんこだわった施設です

筑西市下川島の鬼怒川沿いに建つ「環境センター」は、ごみ処理施設、リサイクルプラザ及びし尿処理施設の3つの施設から成り立っています。

筑西広域市町村圏事務組合構成3市から、それぞれの市が収集した可燃・不燃ごみや事業所から持ち込まれるごみ（一般廃棄物に限る）を通常月曜日から金曜日まで受け入れています。

環境センターでは年間約60,000トンのごみを焼却します。そこから約6,000トンが焼却灰となり、その灰の中から、約3,500トンが溶融スラグとなります。溶融スラグにすることで容積が減少し、最終処分場の延命を図ることができます。

ごみを処理して資源を創る 溶融スラグ

溶融スラグとは、ごみを焼却した時に発生する焼却灰を約1,300℃の高温で溶かしたものを冷却し、固化させたものです。高温で溶かすことにより、ダイオキシンや水銀などの有害物質を分解・無害化するので安全です。溶融スラグは、道路舗装用アスファルトやコンクリート二次製品に再利用されます。



灰溶融炉



炉内

※ 可燃・不燃問わずごみをほぼ100%再利用

環境センターに搬入されるごみは大きく分けると可燃物と不燃物に分かれます。不燃物は再利用されるごみが選別され、再利用できないものは可燃物として焼却され、その後、溶融炉で溶融されるとスラグやメタルとなって再利用されます。
※一部溶融できないごみもあります。



溶融スラグ



メタル

ごみ処理施設

ごみを燃やした時の熱を有効利用

ごみ処理施設では、集められた可燃物を焼却した時に出る排ガスの熱を利用し、蒸気を発生させ、発電を行っています。その電気はセンター内で利用する他に、電力会社への売電も行っています。

また、ボイラーからの蒸気は、隣接する筑西遊湯館のお風呂や温水プールのお湯を沸かすことにも活用されています。

- 処理能力 焼却能力: 240 t/日 (80 t/日×3炉)
- 灰溶融能力: 31 t/日 (1炉)
- 発電能力 最大3,800KW



蒸気タービン発電機



中央制御室



集められたごみを焼却炉へ運ぶクレーン

リサイクルプラザ

ごみも分ければ大切な資源

ペットボトルやアルミ・スチール缶は、手選別で不純物を取り除いた後、圧縮して専門業者へ引き渡し、再利用されます。また、ビン類は白・茶・その他の色に選別され、不純物を出来る限り取り除き、資源価値を高めています。

- 処理能力 50 t/日 (5時間) 粗大ごみ 8 t/日 (5時間)
- 不燃ごみ 40 t/日 (5時間)
- ペットボトル 2 t/日 (5時間)
- 処理方式 機械選別、手選別方式



アルミ・鉄類圧縮減容機



不燃ごみの手選別



リサイクル展示スペース



色別に選別されたビン類

社会科見学に利用されています

環境センターには年間2,000人以上の方々が見学に訪れています。そのほとんどは筑西広域圏内の小学4年生による社会科見学です。一般の方も見学することができます。



し尿処理施設

清潔で快適な生活に欠かせない施設

環境センターのごみ処理施設に隣接する、し尿処理施設では、し尿を高負荷脱窒素処理方式と高度処理設備によって、無色透明な処理水とした後消毒し、放流しています。密閉式システムのため、衛生的で臭いがなく、従来のし尿施設のイメージを一新しました。

- 処理能力 150kl/日
- 処理方式 高負荷脱窒素処理方式+高度処理 (IZジェットエアレーションシステム)



受付時間 8:30~11:45、13:00~16:30

休日 土・日・祝日・年末年始
※毎月第1日曜日は、一般ごみの持ち込みができます。

お問い合わせ 〒308-0855 茨城県筑西市下川島658番地
TEL:0296-33-3755 FAX:0296-33-1577

